

**T I C A D閣僚会合テーマ別イベント保健①**  
**アフリカ連合・Gavi ワクチンアライアンス共催**  
**「アフリカにおける新しいパートナーシップ：日本企業のイノベーションで加速するUHC達成に向けた取組」**  
**深澤外務大臣政務官による挨拶**

**冒頭発言**

- ミナタ・サマテ・セスマ AU 保健・ 人道問題・ 社会開発担当委員、御列席の皆様、外務大臣政務官の深澤陽一です。
  
- 本日は、アフリカにおける新しいパートナーシップに関連して、重要なテーマである保健とイノベーションについて議論いただき、ありがとうございます。日本政府を代表して挨拶申し上げます。

**T I C A Dと保健**

- 日本政府は1993年にT I C A Dを立ち上げて以来、アフリカ各国及びアフリカ連合（AU）、Gaviをはじめとする国際機関と共に、T I C A Dプロセスを通じてアフリカの人々の命と健康を守るための取組を進めてきました。
- 多くの人々の努力により、アフリカの人々の保健を取り巻く環境は改善してきていますが、2020年以降に猛威を振るった新型コロナは、人間の安全保障の基盤となる保健システムを強化することの重要性を浮き彫りにしました。

## 新しいパートナーシップ

- 日本が重視し、世界での取組を主導してきたユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成目標である2030年まで、残り約5年しかありません。新型コロナから得た教訓を忘れる前に、国際社会は、改めてUHCを達成するという目標を思い起こし、行動する必要があります。
- 全ての人々が予防接種や保健サービス等に公平にアクセスできるよう、我々は知見を共有し、連携を促進していく必要があります。
- 本日の議論では、WHOと世界銀行が連携し日本に設立する予定のUHCナレッジハブや、日本企業を中心とする民間セクターの有する知見やイノベーションの活用など、様々な重要なテーマに言及がありました。いずれも、より強靱な保健システムを構築し、保健課題を解決する上で役立つものであり、今後の進展が強く期待されます。
- UHCの達成に向けて、我々是对話と協力を継続していくことが重要です。本日のイベントを契機に、日本とアフリカ、そして保健関係機関や民間企業など、多様なパートナーとの関係を多層的に広げ、革新的な課題解決を共創するよう、日本政府としても取組を進めていきます。

## 結語

- 保健課題の解決に向け、新しいパートナーシップがより発展していくことを祈念し、私からの御挨拶とさせていただきます。御清聴ありがとうございました。